

News Release



2024年5月30日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北陸支所

その“レトロ”ちょっと待った～！ ～古いエアコン・扇風機の事故に注意～ (北陸3県版)

1. 事故の発生状況

2019年度から2023年度までの5年間にNITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}のうち、エアコン^{※2}及び扇風機^{※3}の事故は、北陸3県(富山県、石川県及び福井県)で合計10件ありました。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。
(※2) ルームエアコンのこと。室内機と室外機を含みます。
(※3) サーキュレーターや電気冷温風機、電源がソーラー発電・乾電池・USB端子により給電するもの(携帯用扇風機など)は除きます。

表1 県別年度別事故発生件数(2019～2023年度)

事故発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2019年度		1	1	1	3
2020年度		0	2	1	3
2021年度		0	2	0	2
2022年度		0	1	1	2
2023年度		0	0	0	0
合計	事故件数	1	6	3	10
	うち火災件数	[1]	[6]	[3]	[10]

表2 県別被害状況別事故発生件数(2019～2023年度)

被害状況 ^{※4}		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	1	0	1
物的被害	拡大被害 ^{※5}	1	4	3	8
	製品破損	0	1	0	1
被害なし・不明		0	0	0	0
合計		1	6	3	10

- (※4) 物的被害があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。
(※5) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

2. エアコン及び扇風機の製品事故事例

(1) 扇風機の事故（経年劣化による事故）

- ・ 2019年7月（石川県、男性、60歳代、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該扇風機を長期使用（45年間使用）したことにより、モーター始動用コンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡が生じて出火に至ったものと推定される。

(2) エアコンの事故（内部洗浄による事故）

- ・ 2020年7月（石川県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

エアコン室内機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

エアコン洗浄により、エアコン内部にあるファンモーターのコネクター部分にエアコン洗浄剤が浸入し、内部の端子間でトラッキング現象^{※6}が発生して出火に至ったものと考えられる。

(※6) 非導電部に付着した異物などにより電気の通り道（トラック）が生成され、異常発熱する現象です。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 担当者 吉田、塚谷

電話：076-231-0435

以上